

イクメン育休をとる！

～誰もが当たり前に子育てに関わる世の中に
少しでも近づいてほしいから～



家族構成

かこはし
私(籠橋剛 / 茨城出身: 附属中教員)
妻(有紀子 / 鳥根出身: 大学教員)
長女(小2)・長男(8カ月)

「教育メン」の 独り言…

「子育て中の人は戦力にならない」と言われ、育休取得には嫌味を言われ、単身赴任先では「なんで奥さんを一緒に連れてこないんだ」と叱られた(トホホ)。男性の育休や女性の社会進出が抱える難しさを、われわれ夫婦はあちこちで実感してきた。でも、**妻や家族の支えとなり、わが子に愛情を注ぐことで得られる充実感、かけがえのないものだ。**教員でも男性の育休はまだまだ少数派(附属中では私が初!)だから、私は子育て体験を進んで生徒に話している(授業の本題よりも好評!?)。

私たち家族のこれまで

結婚

夫婦ともフルタイム勤務のわが家。家事は、できるほうができる範囲でこなすスタイル。どちらも忙しいときは…なるようになる(笑)。シングルマザーとして苦勞する母親に育てられた妻は、女性の経済的・精神的自立が必要だと痛感しつつ成人。就職するも、家事・育児の負担増=キャリアを失うリスク増、だと実感。そんな妻と結婚した私は、妻のためにも絶対育休取るぞ~!と子どもがいないうちから宣言(笑)。

育休 パート①

結婚10年目、ついに長女誕生。産後7カ月休んだ妻に続き、私も5カ月間育休を取得。事前に上司と相談し、年度末や学期末などの節目に入れ替わったことで、代わりの人員の確保もスムーズに。

育休 パート② 現在

7年後。2人目も同じように…と思ったが、妻は仕事上、産後2カ月でやむを得ず復職。急きょ私が半年間の育休を取得したため職場には大迷惑。育休取得には、職場の理解はもちろん、**家族や上司との十分な相談が必要**だな~、としみじみ。

長女の時に産後うつになりかけた妻は、長男出産直後の私の育休取得を大歓迎。長期の育休が取りにくい人もいると思うが、**妻の産後の順調な回復のためには、出産直後の夫の育休をぜひお勧めしたい。**

復職した現在、朝が早い(中学校は8:20始業)私は、朝ごはんや弁当づくりを担当。お迎えを担当する日は、基本的に買い物、夕食、お風呂、寝かしつけまでのフルコース!なかなか仕事はかどらない私を何かとフォローしてくれるデキた同僚の方々に、ただただ感謝。

イクボスからのコメント

私の職場でも共働きの割合が多く、料理や洗濯、掃除などの家事、保育所への子どもさんの送迎など、夫婦で分担したり協力したりしながら頑張っている職員もたくさんいます。

今さら反省しても遅いのですが、私自身を振り返れば、仕事優先で子育ては妻にたくさんのことを任せていました。自分の反省も踏まえ、管理職として、それぞれの家庭の状況に応じた育児ができる支援や、子育ての悩みなどの相談ができる職場の雰囲気づくりを大切にしていきたいと思います。



鳥根大学教育学部附属学校園
校園長 齋藤 英明

夫と妻のふりかえり ~未来の男女共同参画に向けて~

夫



昇進や賃金の格差から、女性が出産を機に休むor辞めるという「現実的な選択」をする例は今も多い。「育休が義務化されれば喜んで取る」と言う知人(男性)も実際にいるので、「**産後2カ月の男性の育休を義務化!**」くらいの大胆な改革があってもいいと思う。

妻



育児は女性がするものという固定観念は依然強い中で、夫は家事育児に全く抵抗がなく、何でも器用にこなしていく。本当にありがたい!!一方でイクメンを夫にもつ妻に対する風当たりも実はある。**経営者や管理職レベルで多様な価値観を認める意識があれば働きやすい環境になること間違いなし!**

めっちゃ簡単! 栄養も◎! イクメン一家の時短レシピ♪

すごいのもあれば手抜きもありのわが家の食卓ですが…
Eース級のイチ押しメニューは「**オクラのおひたし!**」!!

朝食



昼食(休日)



夕食



「食育メン」(食育者としてのイクメン)の独り言…

父親が朝ごはんを作ると「えー、すごいね~」という反応が…う~む。別に、誰がご飯作ってもいいと思うんだけどなあ。



作り方

- ①オクラを4、5等分くらいに切ってゆでる(1.5分程度)
- ②市販の白だしを2倍に薄めて容器にスタンバイ
- ③水切りした①を②に投入し、冷蔵庫にGO!
所要時間5分 冷蔵庫15分程度

*オクラは食物繊維や葉酸が含まれるので、妊婦さん、離乳食(7~8カ月ごろから)としてもおススメ!
ゆで汁をスープにしておかゆに混ぜる使い方もOK!

オクラは小泉八雲のガンボスープでも有名。
糖尿病の予防にも効果的!

